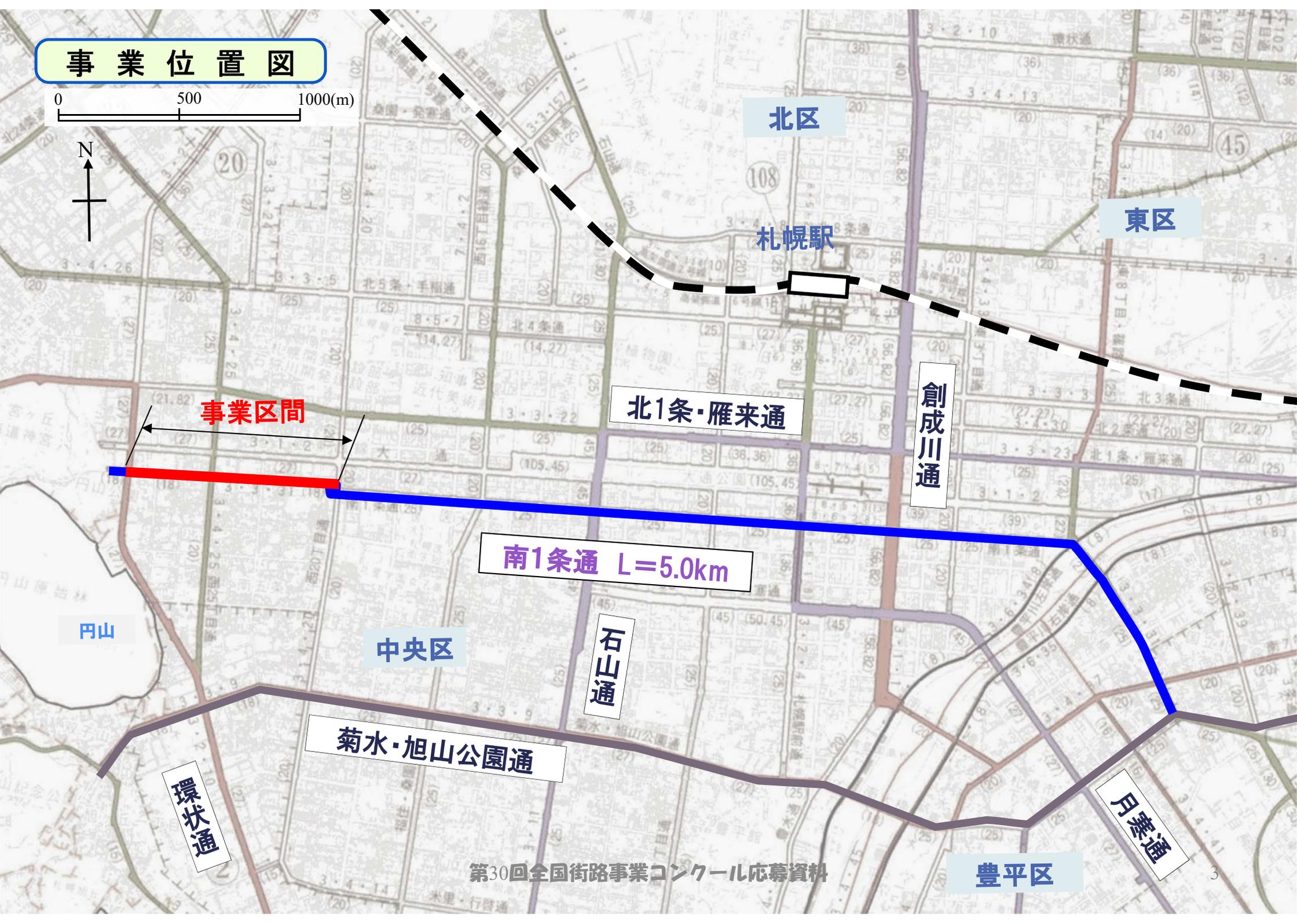


第30回 全国街路事業コンクール応募資料

ふりがな 応募者名		さっぽろしけんせつきよくとぼくぶ 札幌市建設局土木部	
街路事業	ふりがな 事業の名称	としけいかくどうろ3・3・31みなみ1じょうどおりせいびじぎょう 都市計画道路3・3・31南1条通整備事業	
	ふりがな 事業主体	さっぽろしけんせつきよくとぼくぶ 札幌市建設局土木部	
	ふりがな 実施都市名	さっぽろし 札幌市	
	事業概要 (400字以内)		
事業規模		○事業延長:880m ○事業費:約42億円	○幅員:18.0m ○事業期間:平成12年度～平成28年度
事業の目的		本事業は、道路拡幅整備および電線共同溝整備を行うことで、渋滞緩和や冬期間の車道、歩道のスペース確保および、防災性の向上や都市景観の形成を目的としており、停車帯を設けることで、商店街への荷捌き場と冬期間の堆雪スペースを確保している。	
事業効果 (効果一覧を参考に具体的な効果を記入)		【自然災害による被害の軽減】・・・無電柱化による防災性の向上 【交通サービス水準の向上】・・・停車帯整備による商店街への荷捌き場と冬期間の堆雪スペースの確保 【生活利便性の向上】・・・バリアフリー化による良好な歩行環境の確保 【需要の増加】・・・歩行者類数の増加、店舗出店やマンションの建替えによる地域の活性化	
地元対応等	・地域住民との協働等 ・事業反対等があったか ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点	整備にあたっては、沿線関係者や沿線各町内会および自治会、商店振興会、地元住民等と整備内容についてワークショップや歩道景観形成などについての意見交換会などを行ない、インターロッキングブロックや街路灯のデザインなどについて自然豊かな円山の特徴に合わせたものを採用している。 また、本整備に合わせ、「裏参道」という通称名の街路名板を設置し、地域の方が愛着を高められるよう配慮した。	

事業位置図

0 500 1000(m)



北区

東区

札幌駅

事業区間

北1条・雁来通

創成川通

南1条通 L=5.0km

円山

中央区

石山通

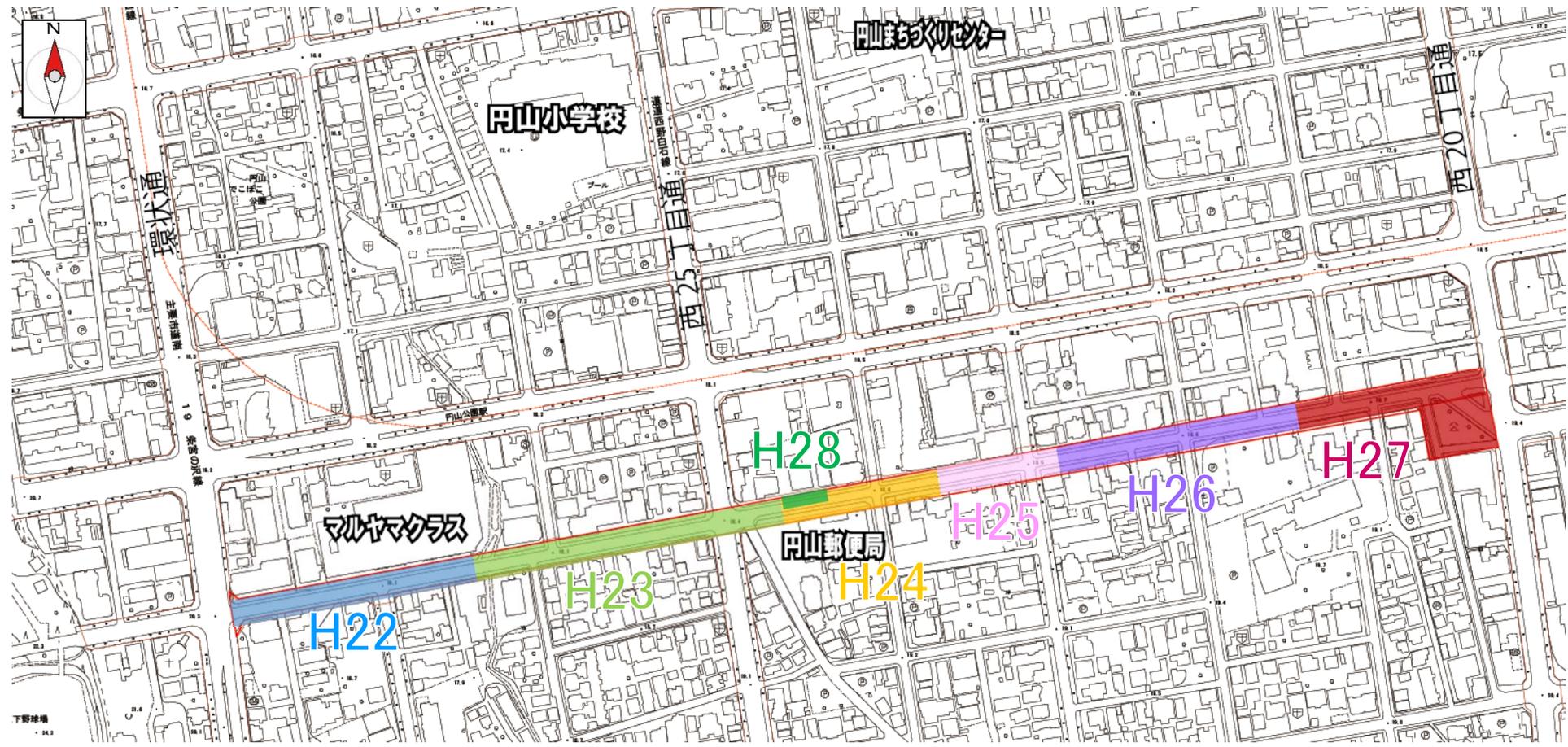
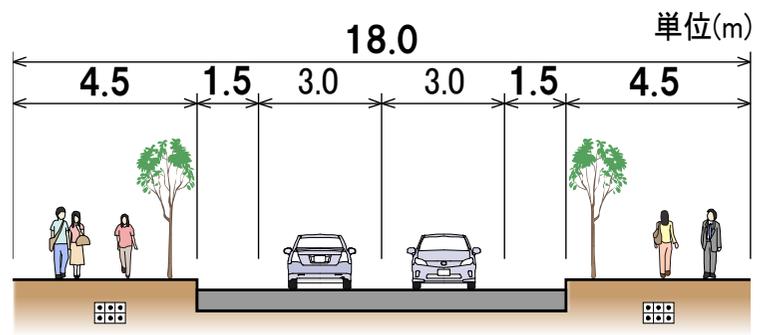
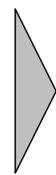
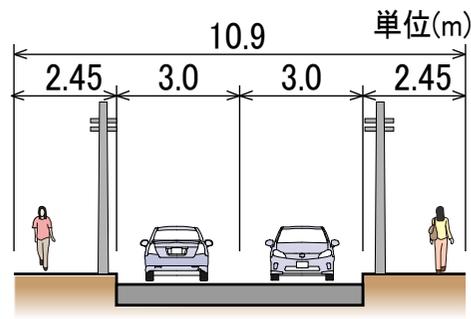
菊水・旭山公園通

環状通

月寒通

豊平区

全体図(平面図・横断図・縦断図)



事業前写真

平成12年撮影



平成21年撮影



平成14年撮影



平成19年撮影



事業後写真

平成28年撮影



平成26年撮影



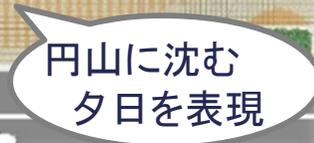
平成28年撮影



平成29年撮影



南1条通の整備効果アピール資料



○歩行者類数 調査結果

供用前	1,557人/12h (H19.11)
供用後	2,643人/12h (H29.10)



○地域と連携した景観

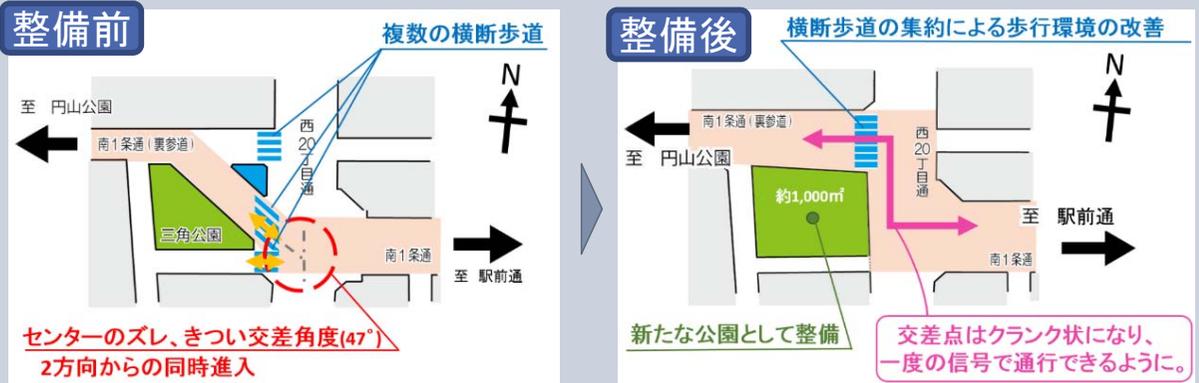
円山地区は都心に近く、円山公園や北海道神宮の緑に囲まれており市内でも人口が増加している地区である。本事業区間は商店が多く立ち並び、古くから市民にはお洒落な通り通称「裏参道」として親しまれている。

本事業においては、工事着手前の約7年間地域と連携し、沿線関係者や沿線各町内会および自治会、商店振興会、地元住民等と整備内容についてワークショップや歩道景観形成などについての意見交換会などを重ね、インターロッキングブロックや街路灯のデザインを自然豊かな円山の特徴に合わせたものを採用している。

整備後は歩行者類数が増加しており、新たな飲食店の出店や沿道のマンション等の建替えが進み、当該整備は街の活性化の契機となった。

○交差点の改良と公園再整備

西20丁目通との交差点は、三叉路と十字路が組み合わさり複雑なことから、本整備に合わせ改良すると共に隣接した公園の拡大再整備を行った。都市公園として再整備することによって、1人あたりの公園面積が少ない札幌市中央区内により大きな公園を整備出来たほか、交差点の安全性を向上させた。



路線全体の進捗状況



都市計画図

